

### 《 今日の主なニュース 》

～ 日経ニュースなどを中心に抜粋 ～

#### ◆国の借金、過去最大の1343兆円 25年度末

・財務省は国債と借入金、政府短期証券を合計した、「国の借金」が2025年度末時点で1343兆8426億円になったと発表。前年度末に比べ20兆1271億円増え、過去最大を更新。税収は増えているものの、物価高対策などの政策経費が膨らんだ。主に税収で返済する必要のある普通国債の発行残高は1104兆2984億円で、2兆5640億円増えた。

#### ◆25年度の早期希望退職募集、2万人超と高水準 黒字リストラが8割

・東京商工リサーチは2025年度の早期希望退職募集が前年度比約2.5倍の2万781人だったと発表。統計を取り始めた09年度以降で4番目の高水準。社数は46社と前年度から1割ほど減少。実施した企業の約7割は、直近決算で黒字だったが将来の事業転換や人員構成などを見越した「黒字リストラ」。早期退職の募集人数は全体の約8割。

#### ◆3月の実質賃金1%増、3カ月連続プラス 減税・補助でエネ価格抑制

・厚生労働省が発表した3月の毎月勤労統計調査(速報、従業員5人以上)によると、物価変動の影響を除いた実質賃金は前年同月比で1.0%増。プラスは3カ月連続。減税や補助金などによる政府のエネルギー価格の抑制策が効いた。名目賃金を示す1人当たりの現金給与総額は31万7254円と2.7%増。基本給(所定内給与)が27万1313円と3.2%増。

### 《 業界ニュース 》

～ 日経ニュース・日刊工業新聞・新建ハウジングなどを中心に抜粋 ～

#### ◆国交省、住宅建材の供給状況把握へ 事業サイトなどで情報受付

・中東情勢の緊迫化に伴って、断熱材や溶剤などの住宅建材の供給に対する不安が広がる中、国土交通省・経済産業省・林野庁は住宅などの供給に携わる事業者からの情報収集を開始。「みらいエコ住宅2026事業」の利用検討者に対して情報提供を求めている。供給の偏りや流通の目詰まり(停滞)の解消を着実に進める方針。

#### ◆3省庁、流通に対し住宅資材の需給ひっ迫防止を要請

・経産省、国交省、林野庁は流通事業者に対し事務連絡「住宅建材・設備・資材の安定供給に向けた御協力について」を発出。通常以上の発注が集中することによる需給ひっ迫が発生しないよう、当面の必要量に見合う量のみを発注する、不急な在庫の確保を控える、などの対策を求めた。流通事業者から工務店などに対し計画的な発注働きかけを要望。

#### ◆ゼネコン4社合計、8年ぶり最高益 価格転嫁進み五輪特需上回る

・大手ゼネコンの業績が拡大。2026年3月期の4社合計の連結営業利益は前の期に比べ5割増え、8年ぶりに過去最高。建設需要が伸びたためにコストの増加分を価格転嫁でき工事の採算が改善。鹿島、大林組、大成建設、清水建設の連結営業利益の合計は7300億円程度に。東京五輪・パラリンピックに向けた建設特需があった18年3月期を上回った。

### 《 注目商品 》

#### ■YKK AP 樹脂内窓「ウチリモ」にプロジェクト窓追加

・取り付け部の見込み寸法が最小39mmあれば設置できるリフォーム用の樹脂製内窓「ウチリモ」プロジェクト窓を4月30日に発売。プロジェクト窓とは、内開き窓、開き窓テラス、FIX窓のこと。今回プロジェクト窓が加わったことで全窓種が揃った。



#### ■リンナイ、エアバブルテクノロジー搭載の業務用ガス給湯器

・微細な泡を水に溶け込ませる独自技術「Air Bubble Technology(エアバブルテクノロジー)」を搭載した給湯能力24号の業務用ガス給湯器。ウルトラファインバブル発生装置を内蔵することで、水まわりの汚れを軽減する効果が期待できる。排水管汚れの残存率低減を確認。



#### ■Deto、便座交換できるタンクレストイレ

・便座だけを交換できるタンクレストイレ。ほとんどのタンクレストイレは便座が破損すると便器本体ごとの取り換えが必要だったが、本製品は便座だけを取り替えられ、コストを抑えることができる。前出寸法645mmの業界最小クラスのコンパクト設計。

